



新年あけましておめでとうございます。

新春のお慶びを申し上げますとともに、日頃から当施設の運営にご理解とご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

去年は、「丑年」。丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」「時代の転換期」というような年でした。

さて2022年は、36年に一度の「五黄の寅（ごおうのとら）」。干支と九星術の組み合わせの中でも最も運気が強いとされ、厳しい冬を超えて、新しく立ち上がることに向けて動き出す段階に入る1年になると言われています。

この機会を、現状から成長していく最適の機会ととらえ、更なる盤石な体制で挑戦と改善に取り組み、「利用者と家族、職員そして地域との絆を大事にした施設運営」という理念を実現出来るように職員一丸となって、ご利用者様の生活を第一に施設運営にあたる所存でございます。

引き続き感染予防の徹底が最優先であることに変わりはありませんが、施設ご利用者様、ご家族様、地域の皆様の生活がより良い方向に向かうように工夫と努力をして参りたい、そして一日も早く、諸行事が再開できるようになり、皆様とお目に掛かれることを切望しています。

令和3年4月から施設長に就任し、9ヶ月が経過しました。事業運営の難しさ、社会情勢の厳しさを改めて感じているところでございます。

今年も介護現場にも入りつつ、ご利用者様、ご家族様と少しでも多く関わりをもちながら施設運営に邁進して参ります。また地域に根ざし、共生できる施設として、職員それぞれが力を合わせて信頼にお応えできるよう、今後も努力して参りますので、本年もこれまで同様のご支援を心からお願い申し上げます。

何かお気づきの点などございましたら、お気軽にお声掛けください。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

令和4年1月

社会福祉法人桜ヶ岡福社会
特別養護老人ホーム絆
施設長 星 健一